

第1章

序

論

2 ~ 21

1

1 策定の趣旨

この総合計画は、これからの桑名市がどんなまちを目指して、どのようにまちづくりを進めていくのか、その方向性をいろんな人たちと共有し、ともにまちづくりを進めていくためのものです。

平成 27 年（2015）からスタートした桑名市総合計画は、「本物力こそ、桑名力。」を基本理念に掲げ、このまちに関わる人すべてが、自信と誇りを持てるように、このまちに生きる「本物」がさらに光り輝き、大きくなり、みんなが持つ「桑名力」であふれるように、『全員参加型の市政』を目指したものです。

この桑名市総合計画は、基本理念、目指す桑名市の将来像、まちづくりの基本視点、7つのビジョンを含む「基本構想」と、これを具体化するための施策事業である「基本計画」の2つから構成されます。基本構想は、10年という長期的な視点で作られており、基本計画は前期、後期それぞれ5年を計画期間としています。

今回、桑名市のこれからの5年（令和 2～6 年度）を計画期間とする後期基本計画を策定します。



2 総合計画の構成と期間

桑名市では、平成27年に令和6年までの桑名市総合計画を策定し、「総合計画の基本理念」「目指す桑名市の将来像」「まちづくりの基本視点と7つのビジョン」を定めました。これらは後期計画においても、基本構想として引き続き掲げていくものになります。

年度	平成27 2015	平成28 2016	平成29 2017	平成30 2018	令和1 2019	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024
基本構想	10年間									
基本計画	前期					後期				
実施計画						3年間単位			3年間単位	
							3年間単位		3年間単位	
								3年間単位		

計画の構成と期間

● 基本構想

総合計画の基本理念と桑名市が目指す将来像、それを実現するためのまちづくりの基本視点、7つのビジョン（施策の大綱）です。

計画期間は、平成27(2015)年度から令和6(2024)年度までの10年間です。

● 基本計画

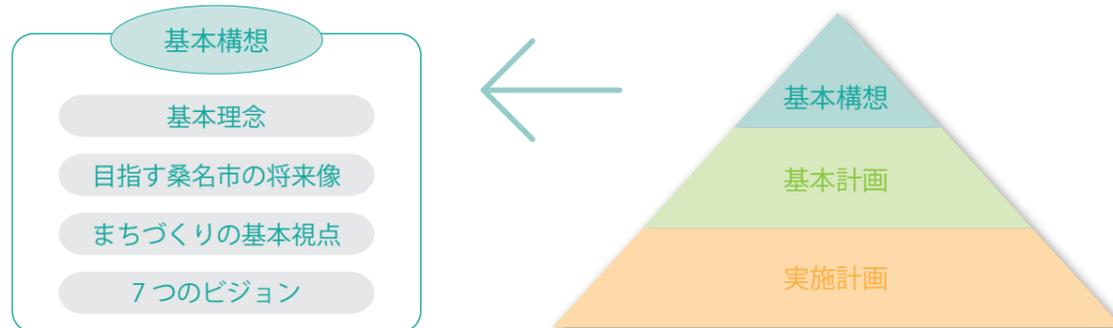
基本構想を実現するため、施策の基本的な考え方、展開方法、主な事業などを各分野別に示すものです。

後期基本計画の計画期間は、令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までの5年間です。

● 実施計画

基本計画に掲げた施策を、各年度の予算編成や行財政運営のなかで計画的かつ具体的にどのように推進するかを示すものです。

計画期間は3年を単位として、毎年見直しをしながら、別途作成をおこないます。



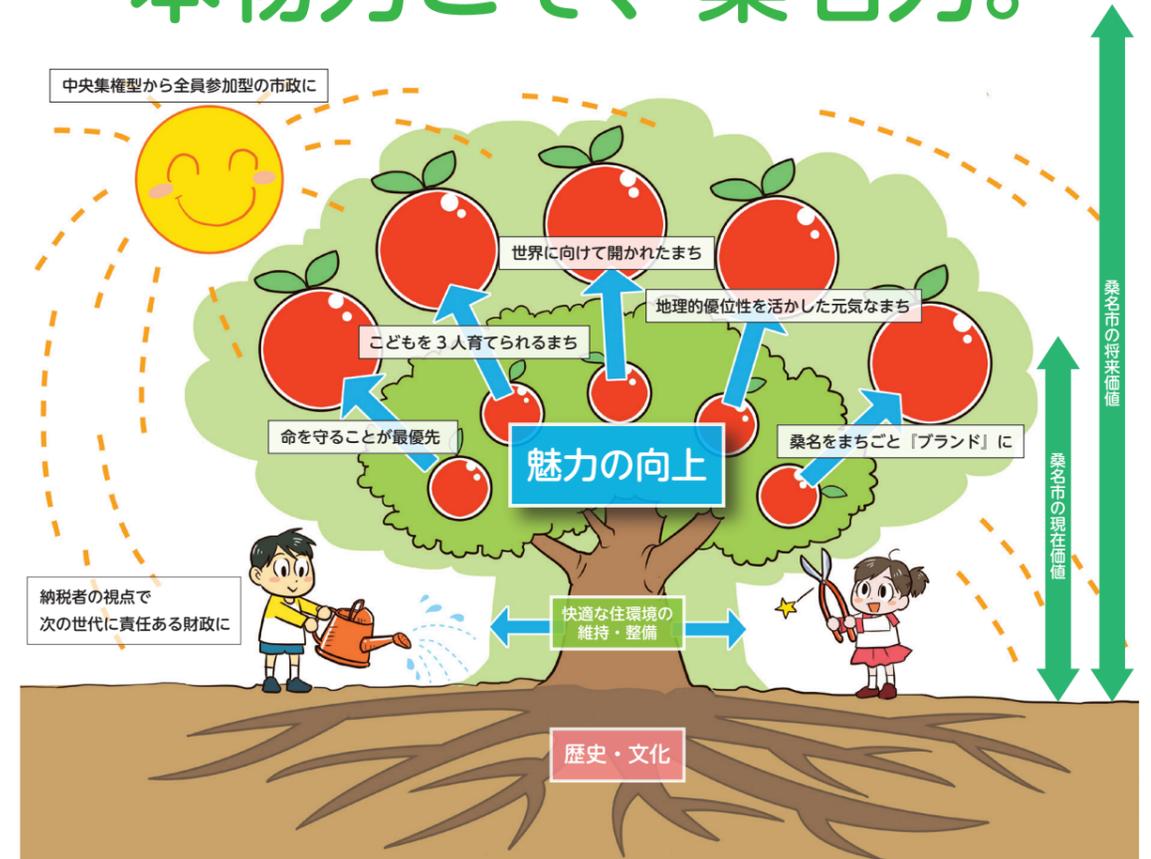
3 基本理念

桑名市は、歴史ある伝統文化や農水産物、匠の技が光る民芸品、観光名所を多く有し、また、全国有数のレジャー施設や優れた水辺環境、世界で活躍する企業など、世界中に誇れる価値の高い「本物」がたくさんあります。多くの市民が実感し、市外からも多くの転入者を引き付けている「快適な住環境」も、桑名がつくり、育ててきた「本物」といえます。

普段、桑名で暮らす中ではつい忘れがちな、こうした「本物」を「見つけ出し」「磨き上げ」「大きくする」力、いわゆる「本物力」「桑名力」を「まちづくり」においてもいかし、取り組んでいく必要があります。

また、これからのまちづくりは、行政のみならず、市民や地域の企業、関係する機関など、すべての関係者が参加し、協働して進めるべきものと考えます。

本物力こそ、桑名力。



私たちはこの「桑名力」を発揮して、桑名のまちづくりを進めていきます。

第2節 これまでの主な取り組み

前期の総合計画では7つのビジョンを掲げ、さまざまな課題に取り組んできました。主な事業の取り組みを以下にまとめました。

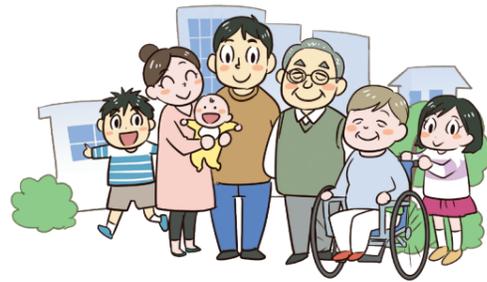
1 中央集権型から全員参加型の市政に

地域コミュニティ



地域創造プロジェクト(案)を進めています。

新しい福祉のかたち



多世代共生型施設(仮称:福祉ヴィレッジ)の整備を促進しています。

● 基本計画ごとにまとめた主な取り組み

基本計画	主な実績、取り組みの内容
市民と行政のパートナーシップ	● 地域創造プロジェクト(案)を策定し、地域活動への基盤整備を実施
男女共同参画	● 審議会等の女性登用率の上昇
コミュニケーション活動	● 市長カフェの実施 ● ふれあいトークの実施
地域福祉	● 多世代共生型施設整備事業の促進
人権政策	● 地区人権啓発推進会の設立数の増加

2 命を守ることが最優先

地域医療



桑名市総合医療センター(新病院)を開院しました。

地域包括ケア



大山田地区に総合的な地域包括支援センターを設置しました。

健康づくり



健康マイレージ(ポイント)制度を採り入れました。

防災・減災



津波避難施設を整備していきます。

● 基本計画ごとにまとめた主な取り組み

基本計画	主な実績、取り組みの内容
防災	<ul style="list-style-type: none"> ● 浸水想定区域におけるデジタル同報系無線の整備（平成27年度～令和元年度） ● 長島地区の東名阪自動車道法面に緊急避難施設を整備（平成24年度～平成27年度） ● 星見ヶ丘地区に防災拠点施設を整備（平成27年度～） ● 自主防災組織数の増加
防犯・交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ● 刑法犯の発生件数の減少
消防・救急	<ul style="list-style-type: none"> ● 消防指令センターの共同運用開始（平成28年度～） ● 住宅用火災警報器取付支援の開始（平成29年度～） ● 救急ワークステーションの運用開始（平成30年度～）
環境・廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 桑名広域清掃事業組合において、新処理施設である「可燃ごみ焼却施設」の稼働（令和元年度～） ● 市民1人あたりの1日のゴミ排出量の減少
介護保険・高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉なんでも相談センターを大山田コミュニティプラザに開設（平成29年度～）
障害者(児)福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者基幹相談支援センターの設置（令和元年度～）
医療保険・生活保護	<ul style="list-style-type: none"> ● 未就学児の医療費の窓口無料化（令和元年度～） ● 生活困窮者の新規相談数の増加
地域医療・健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 桑名市総合医療センター（新病院）の開院（平成30年度～） ● 健康マイレージポイントの開始（平成30年度～）
河川	<ul style="list-style-type: none"> ● 員弁川の河川内の樹木伐採を地域住民・県・市と協働で実施（平成29年度～令和元年度） ● 城南海岸整備率の上昇
上下水道	<ul style="list-style-type: none"> ● 上下水道事業経営戦略の策定(平成27年度) ● 導、送、配水管の耐震率の上昇 ● 下水道普及率の上昇

3 こどもを3人育てられるまち



小中一貫教育を推進しています。



待機児童ゼロの継続を目指しています。

● 基本計画ごとにまとめた主な取り組み

基本計画	主な実績、取り組みの内容
子ども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 商業施設内に公設の子育て支援センター「にこにこ」を開設（平成29年度～） ● 待機児童対策のための小規模保育所の整備（平成30年度～） ● 小学校敷地内へ放課後児童クラブを移設（平成29年度～） ● 産婦健康診査の助成、産後ケア事業の開始（令和元年度～）
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 小中一貫教育を核とした、授業改善の方向性の明確化・一定の学力の向上 ● 各学校にタブレットPCを配備、校務用PCの配備など教育ICT環境の整備（令和元年度） ● PTAと連携し「スマホおやすみ運動」を展開啓発チラシ発行 ● 幼稚園、小学校への空調設備の整備（平成30年度・令和元年度） ● トイレ改修の実施（平成27年度～令和元年度）
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 同和教育副読本「あゆみ」の改訂（平成29年度） ● 差別をなくそうとする意識の高揚（人権に関する意識調査） ● 児童生徒のいじめ防止への意識向上

4 世界に向けて開かれたまち



2016年ジュニア・サミット in 三重を開催しました。

● 基本計画ごとにまとめた主な取り組み

基本計画	主な実績、取り組みの内容
国際理解教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 桑名子ども英語コンテストの開催（平成30年度～） ● 第69回日米学生会議 in 三重に伴う交流会への参加（平成29年度）
国内・国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 2016ジュニア・サミットin三重の開催（平成28年度） ● 外国人住民のための防災セミナーの実施（平成28年度）



5 世界的優位性を活かした元気なまち



桑名駅の東西をつなぐ連絡通路を整備しています。

● 基本計画ごとにまとめた主な取り組み

基本計画	主な実績、取り組みの内容
中心市街地	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地区画整理事業の実施 ● 桑名駅自由通路等整備事業着手（平成28年度～） ● 桑名駅周辺地区整備構想の策定（平成30年度） ● 立地適正化計画の策定（平成29年度） ● 都市機能誘導区域の設定（平成28年度） ● 居住誘導区域の設定（平成30年度）
道路	<ul style="list-style-type: none"> ● 加速度センサーの搭載されたスマートフォンによる道路劣化状況調査「ICT道路調査事業」の導入（令和元年度～） ● 国道1号桑名東部拡幅事業等の促進に向けた国や県に対する要望活動の実施 ● 橋りょう修繕実施数の増加
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般社団法人養老線管理機構の設立 公有民営方式による事業形態へ移行（平成29年度～） ● 北勢線への沿線市町による運行支援の実施（平成28年度～） ● 桑名市都市総合交通戦略の策定（平成30年度）

6 桑名をまちごと「ブランド」に



観光業と他産業の融和により、新たに稼げる仕組みを地方創生で構築しています。

● 基本計画ごとにまとめた主な取り組み

基本計画	主な実績、取り組みの内容
文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国近代化遺産活用連絡協議会の桑名大会を開催（平成29年度） ● 近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会の三重大会を開催（平成30年度） ● 桑名市体育協会と共催で市民体育大会を開催
生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ● JAXA（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構）と宇宙航空教育活動に関する協定の締結（平成30年度）
農林業	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業経営における農地中間管理事業の実施
水産業	<ul style="list-style-type: none"> ● 農山漁村地域整備交付金の活用による伊曾島漁港の整備（平成24年度～平成28年度）
商業	<ul style="list-style-type: none"> ● 桑名市ビジネスサポートセンターを市、商工会議所、産業支援センターが連携して開設（平成29年度～）
工業	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域未来投資促進法重点促進区域等の工場立地法に定める緑地面積率の緩和（平成29年度～） ● 先端設備導入促進基本計画を策定し、先端設備の導入計画の認定を開始（平成30年度～）
都市デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観届出件数の増加
プロモーション活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 小規模体験プログラム「桑名ほんぱく」を開催（平成27年度～） ● フィルムコミッションによる映画等の撮影誘致件数の増加 ● MICE国際会議の誘致（平成30年度～）

7 納税者の視点で次の世代に責任ある財政に



行政と民間の持つ経営資源を協働しながら効果的に活用しています。

● 基本計画ごとにまとめた主な取り組み

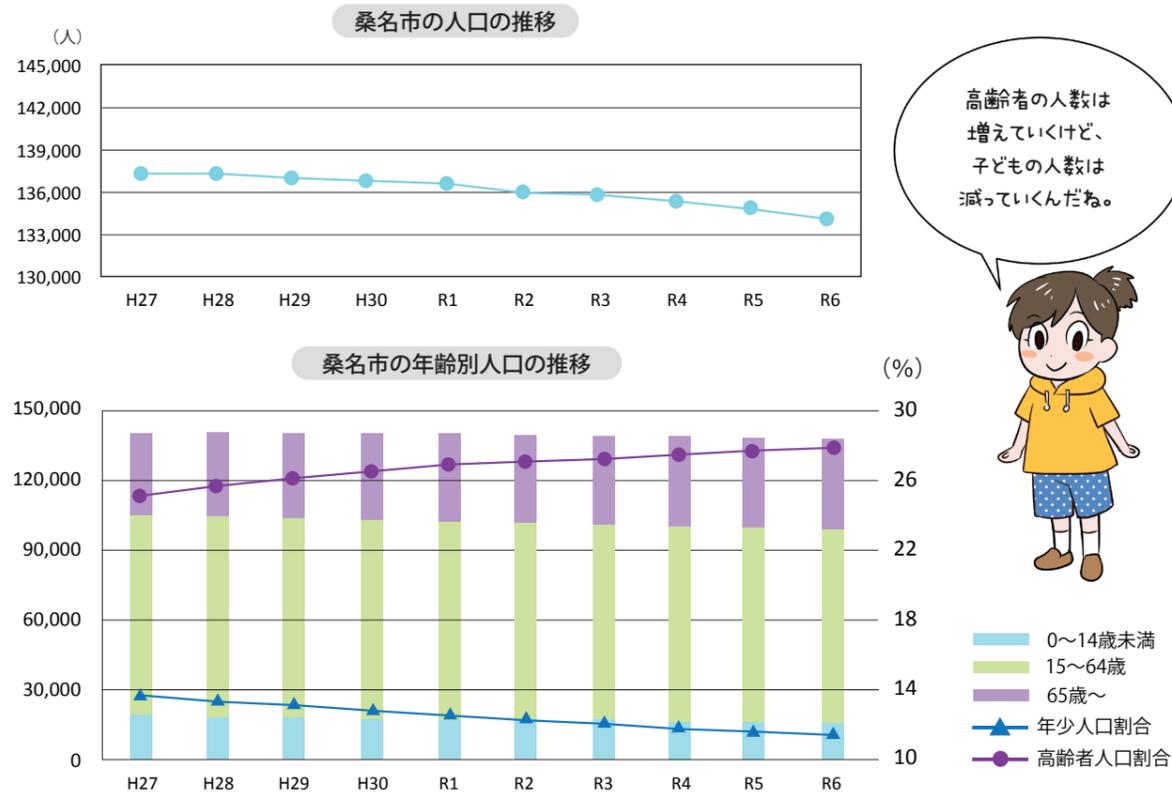
基本計画	主な実績、取り組みの内容
全員参加型市政に向けた組織力と職員力の向上 ヒト	<ul style="list-style-type: none"> ● 桑名市定員適正化計画にもとづいた適正な人員配置と業務効率の向上
資産の有効活用 モノ	<ul style="list-style-type: none"> ● 桑名市公共施設等総合管理計画第1次アクションプランの推進
効率的・効果的な行財政運営 カネ	<ul style="list-style-type: none"> ● 桑名市土地開発公社の解散（平成28年度） ● 使用料・手数料、補助金の見直し ● 財政指標（経常収支比率）の改善
公民連携の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民連携ワンストップ窓口「コラボ・ラボ桑名」の設置（平成28年度～）

1 社会背景と人口

全国的に、少子高齢化とそれに伴う労働力人口の減少が進んでおり、経済成長へのマイナス影響や様々な社会基盤の維持困難などが問題となってきています。また、新しい在留資格の創設などにより、外国人の増加が見込まれています。

桑名市においても、社会保障費の増加や高齢化社会への対応、介護サービスの充実化、子どもを産み育てやすい環境づくりなど、人口構造の変化に伴う様々な課題に対応していく必要があると考えられます。

桑名市の人口は、平成27年の国勢調査によると140,303人となっており、おおむね横ばいの推移になっています。将来推計について、平成26年度に策定した「桑名市総合計画」の人口推計をもとに時点修正をおこなった結果、計画期間が終了する令和6年度の人口は137,218人と人口を維持しつつも、わずかに減少する見通しです。また、桑名市においても高齢者の人口は増加しているのに対して、子どもの人口は減少していく見通しです。

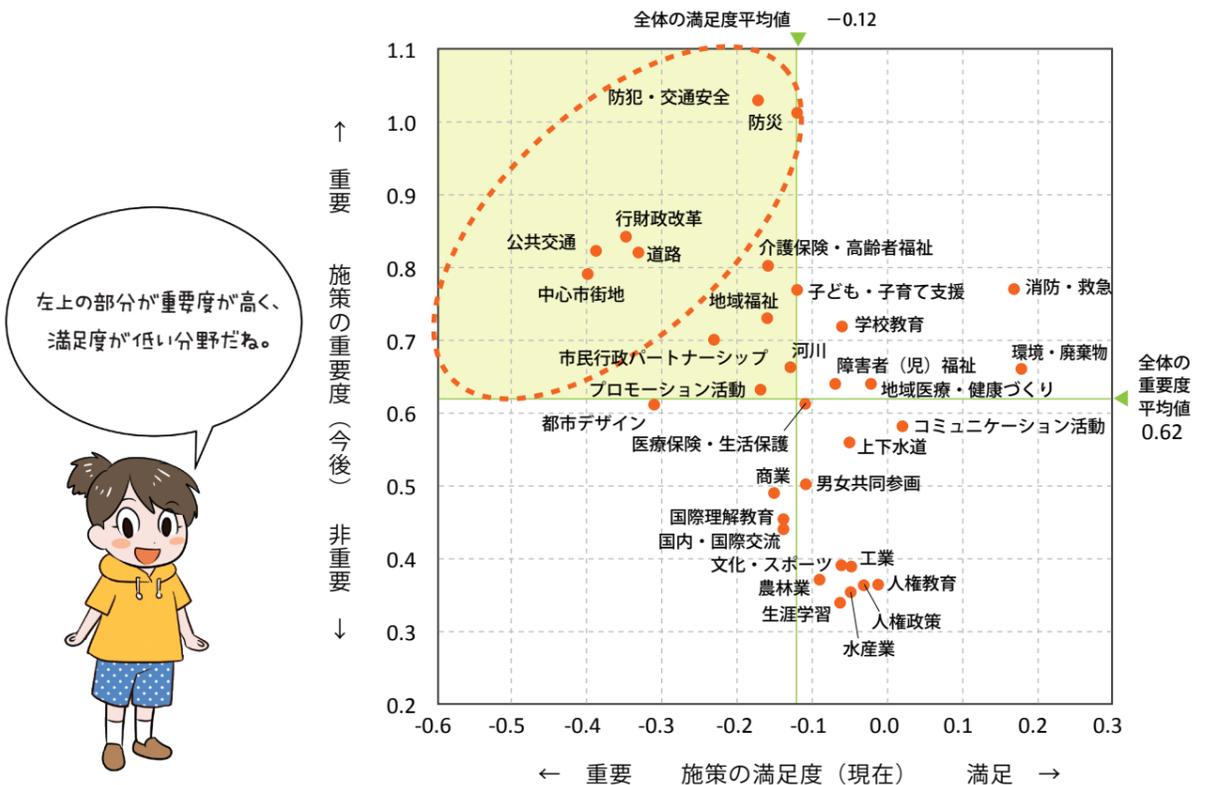


※ 実績値のうち、平成27年は総務省「国勢調査」による人口。平成28・29・30年は三重県「月別人口調査」による各年の推計人口。
※ 推計値は、平成30年の人口を基に、コーホート要因法を用いて推計したものの。

2 市民ニーズの多様化 ～市民満足度調査の結果から～

人口構造の変化や情報技術の進展などの社会情勢の変化を背景に、市民の意識やライフスタイルは変化しており、様々なニーズに対応することが求められています。また、桑名市総合計画のビジョンにおいて「中央集権型から全員参加型の市政に」を掲げ取り組んできたことから、市民の市民参加型のまちづくりへの関心が高まっており、今後さらに市民への積極的な情報提供や市民による主体的なまちづくり活動への支援を進めていくことが重要になっています。

市民の意識や生活スタイルなどの変化によるニーズを把握するために、平成30年6月から7月にかけて市民満足度調査を実施し、総合計画にある各施策の進行を確認しました。特に市民が重要であると考えられる施策と施策に対する満足度が分かる表が以下の分布図となります。

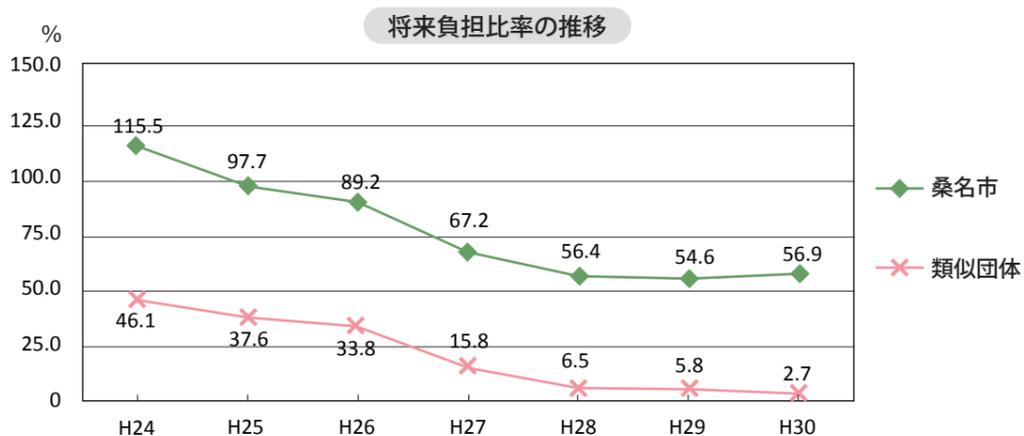
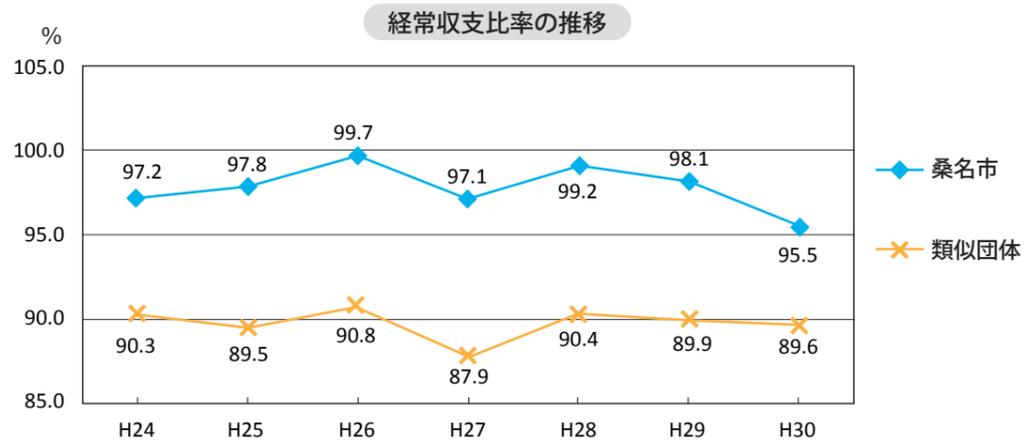


この分布図においては、重要度が高くかつ満足度が低い領域（図の左上の網掛け部分）にある項目が特に今後重点的に取り組むべき優先度の高い施策分野であることを示しています。今回の調査結果では、「公共交通」「行財政改革」「中心市街地」「道路」などが該当しています。また、「防犯・交通安全」「防災」について重要度が非常に高くなっています。

3 財政状況

桑名市の財政は、厳しい状況にありましたが、財政健全化の取り組みを進めた結果、主な財政指標では改善傾向が継続しており、少しずつ明るいきざしが見えてきました。

今後も健全な財政運営を堅持しながら、社会情勢の変化や市民ニーズの多様化などに機敏に対応していけるよう、行財政改革の取り組みを継続し、公民連携などの新たな手法やアイデアを積極的に取り入れていく必要があります。



※「経常収支比率」とは、自由に使えるお金の度合い、財政の「ゆとり」を示す指標です。
(数値が高いほど、財政の自由度が小さい)

※「将来負担比率」とは、市が抱える借金の度合い、財政の「負担」を示す指標です。
(数値が低いほど、借金による負担が小さい)



4 行財政改革

桑名市の総合計画は、行政改革大綱を計画の中に位置付け、行財政改革と合わせて取り組む計画としてスタートしました。

行政の経営資源である「ヒト」「モノ」「カネ」を効率的・効果的に活用することを基本に、民間のアイデアや経営資源を積極的に活用する「公民連携」の考え方を取り入れ、目指す将来像を実現するための行財政運営を進めてきました。

現在、社会情勢は刻々と変化し、新たな課題や市民ニーズが多様化する一方で、AI¹やRPA²に代表される情報技術も登場しております。新たな技術を活用しながら、業務の効率化や効果的な市民サービスを提供することが求められています。

今後も、桑名の魅力を高め維持していくため、継続して行財政改革の取り組みを進めていく必要があります。



- 1 AI: 人工知能のこと。学習、推論、判断といった人間の知能をもつ機能を備えたコンピューターシステム。Artificial Intelligence の略。
- 2 RPA: ソフトウェアのロボット技術により、定型的な事務作業を自動化・効率化すること。Robotic Process Automation の略。

桑名市総合計画は、平成27年度から令和6年度までを計画期間とし、「本物力こそ、桑名力。」を基本理念として掲げるとともに、「快適な暮らしを次世代にも誇れるまち」「桑名市の魅力が自他ともに認められるまち」を『目指す桑名市の将来像』としました。

「まちづくりの基本視点」と「7つのビジョン」をもとに、市民、団体、企業、行政などの各主体が、地域のあるべき姿を共有しながら、その実現に向けて取り組むこととした、「全員参加型の市政」を実現する計画です。

この総合計画は、適正な進行管理と柔軟な施策展開を図るため、前期と後期（各5年）に分け、前期が終了する前に内容の見直しを行うこととしており、持続可能な開発目標（SDGs³）の考え方や次に掲げる視点を踏まえて、時代に即した計画として見直しをおこなう必要があります。

³ SDGs：エスディージーズ。2015年9月の国連サミットで採択された国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓う。Sustainable Development Goalsの略。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



桑名市総合計画の基本構想に掲げるまちづくりの方向性は、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現を目指すSDGsの理念と同様であり、総合計画の推進により、持続的な市民の安全・安心な暮らしや豊かな地域社会の実現と次世代を見据えたまちづくりを進めていきます。

重点プロジェクトの視点

特に重点的に進めるべき政策・施策を「重点プロジェクト」として後期総合計画に設定することで、桑名市の課題を明確化し「選択と集中」の実現を目指します。

また、政策・施策間連携を進めることで、多様化する課題に対して、部局の枠組みを越えた的確な対応ができる計画とします。

多様化する市民ニーズの視点

市民満足度調査の結果を受け、満足度が上昇した分野である、中心市街地、地域医療・健康づくり、行財政改革や、満足度の低下及び重要度が上昇した分野である、防犯・交通安全、防災、公共交通、道路など、多様化する市民ニーズに対応するための計画とします。

社会情勢の変化の視点

財政の新たな局面、少子高齢化、労働力人口の減少、多文化共生社会の到来、情報技術（AI・RPA・ICT⁴）の進歩、災害の頻発化・激甚化による市の強靱化の必要性など、社会情勢の変化により様々な課題に対応していく計画とします。

基本構想や上記視点を踏まえ、基本事業の必要性と優先順位を定める「選択と集中」により、メリハリのある計画とします。



⁴ ICT：情報通信技術のこと。Information and Communication Technologyの略。

第5節 まちづくりビジョン (体系図)

